



こさかだより

立憲民主・無所属 千葉市議会議員団 小坂 さとみ
《令和6年第2回定例会報告書 2024年9月発行》

Vol.12

認知症や一人暮らしでも安心して暮らせる支え合いのまちに

現状：判断能力が不十分な人が増加しています

2025年には



高齢者の約5人に
1人が認知症

2025年には、認知症者数700万人となる想定。
今では、誰もが関わる可能性がある身近な病気です。

成年後見人制度とは？

認知症、知的・精神障がいなどにより判断能力が十分でない方が安心して“その人らしい生活”を送れるように本人の権利を守る支援をする制度です。

入出金のトラブル
財産管理

契約のトラブル
悪徳業者

手続のトラブル
各種手続

意思決定を一人で行うのが不安な方



意思決定
を支援

- ・親族
- ・弁護士 ・司法書士 ・社会福祉士
- ・社会福祉法人や社団法人 NPO 法人（法人後見）
- ・研修を受けた一般市民（市民後見人）

圧倒的に足りていない
裁判所が選任

小坂は

市民後見人に注目

- ・地域住民が、市民目線で本人と寄り添う
- ・きめ細やかなサポートでその人らしい暮らしに近づける

小坂さとみは

市民後見人養成講座
修了認定取得

千葉市の取組

市民後見人養成講座・フォローアップ研修の実施

課題

市民後見人のなり手が少ない
地域住民は忙しい！

千葉市の市民後見人養成講座修了者数

平成24年 45人 ▶ 令和5年 12人

共働き

親族の介護

定年後も仕事

小坂の要望



市民が関わりやすい環境・仕組みづくりを！

提案①

意思決定サポーターの導入

千葉市の取組

認知症サポーターの導入
活動状況→個人の意思に任せている
例) 認知症カフェで活動

提案②

法人後見のアト押しを！

メリット

- それぞれの得意分野を担当することで個々の負担を軽減し専門分野でサポートできる。
- 長期案件に対応可能：担当の後見人に何かがあっても支援の継続が可能



判断能力が不十分な人の現状と課題

判断力が低下している高齢者などを対象に必要な契約を結ばせるなど、悪質な事業者による消費者トラブルが後を絶たない

小坂の要望



早期発見・早期対応を



千葉市の取組 ～地域で様々な見守り連携～

- 認知症サポーターなど、地域見守り団体 255 団体への活動支援・助成
- 民生委員による高齢者などの生活状態の把握や助言
- 電気・ガスなどのライフライン事業者や宅配などの事業者と協定を締結し、異変があった際に市に通報してもらう取組
- いきいきプラザ・センターで行う健康教室や通いの場などにより孤立を防ぎ、地域のつながりを広げる取組

今、一人暮らしの高齢者が増加しています。また、知的・精神障がい者の方のサポートも必要です。いつか、自分や家族が地域のお世話になることもあるでしょう。

住み慣れた地域や自宅で安心して暮らし続けるために、お互い様のまちづくりをめざします

〈市政に関するご意見をお寄せください〉

☎ 090-8534-8723

✉ sk.kosaka@gmail.com

🌐 <http://www.kosakasatomi.com>

【事務所】

千葉市稲毛区柏台1-4-603

